

# キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成 31年 4月 12日

1級受検番号 NO 03F3520366

氏 名 M.H

(東京都在住)

## ■ 1級技能士を目指したきっかけ

これまで、経験の浅いキャリアコンサルタントにどのように助言、指導していけば良いのか試行錯誤して取り組んできました。1級を取るステップを踏むことでこれまでより体系的且つ同じ志を持つ人と出会えることで効果的な指導方法が考えられるのではと考え資格取得を目指しました。

## ■ 当初の勉強法

まずは、web上で取得できる学科の過去問を解くことから始めました。その上で自分の不得意分野を仮置きし、関係文書（行政発表、書籍など）を読み込み改めてトライ。それを繰り返し過去問は100点を取れるようにすることを第一のステップとしました。論述は苦手意識が有り、技能士の会の「1級実技試験対策短期集中2日間講座」を受講し基本から学びました。

## ■ 合格のきっかけ

技能士の会の講座に出席したことが大きなきっかけです。第1回の2級技能士を受験した際は独自の学習で客観的に問題を分析することができませんでした。今回何種類かの対策講座を受講することで学ぶべきポイントが理解することができ、何をどのように学べば良いのか具体的内容を決められたことがきっかけになりました。

## ■ 学科試験の勉強

過去問苦手分野の周辺領域とメジャーな学説や学者等について改めて整理して理解に努めたことです。これは知っているつもりを防ぐため、正確に理解し関連つけて記憶することができました。また、学科対策をしていて痛感したことは日頃の情報収集の大切さです。新聞を読むことはもちろん、webでアンテナを張って関連情報と接することで情報同士の関連性が増し、問題を直接理解していなくても意図を推測することに役立ちました。

## ■ 論述試験対策

試験時に記述する基本的文章を書くことを繰り返しました。日頃手書きの文章を書くことが少ないため日常でも手書きのメモを作成し、試験対策の時も「～～の問題把握ができていない」「クライアント視点の～～」などの頻出文を手で書くことで試験時のイメージを持ち、気づいた問題点を表現する語彙を類語辞典など活用し増やすことを意識しました。

## ■ 面接試験対策

ロープレ三昧4つの評価区分点数アップ講座で評価区分ごとに何をすれば試験官に伝わるのか対応策を考えました。極端な例としては面談の流れからは不自然でも、言葉で伝えることを意識して練習しました。合わせてロールの録音を聞き、その結果第三者がどのように聞いているかイメージして口頭質問対策を行いました。

## ■ 受検される方へメッセージ

受検する目的を明確にして、目前の些末なことに拘泥せず自分らしく実力発揮するために何が必要か明確にできると試験勉強にも身が入ると思います。私は試験前日、当日は普段と変わらない生活を心がけ、日常の一環として受験することで素の自分で受験することができました。人の意見に左右されず自分を信じて結果を受容れる気持ちでトライしてください。

それと、本筋の話ではありませんが個人的には面接官の立場で考えると受験日程は中盤以降の方が良いように思います。とういのは試験の初期の方はどうしても試験官もキチンと採点しようとの傾向が強くなり、時間の経過とともに多くの受検者を採点することで収斂した採点になることも予想されます。あくまで個人的見解ですが参考までにお伝えします。